

第3回亀岡市教育振興基本計画検討会議 議事録

開催日時	令和3年6月7日（月） 午後2時から午後3時45分まで
開催場所	亀岡市役所6階 602・603会議室
協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 委員自己紹介 4. 基本理念について 5. 基本目標及び基本施策について 6. 亀岡市教育振興基本計画～かめおか教育プラン～の評価について 7. その他
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次亀岡市教育振興基本計画 基本理念（案）について 【資料1】 ・第2次亀岡市教育振興基本計画 基本億票及び基本施策（案）について 【資料2】 ・亀岡市教育振興基本計画～かめおか教育プラン～の評価について 【資料3】
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 (挨拶) 2. 委嘱状交付 (委嘱状の交付) 3. 委員自己紹介 (委員と事務局が自己紹介) 4. 基本理念について 事務局…【資料1】をもとに説明 座長…ただいま事務局から、基本理念について説明がありました。何か不明な点や質問はありますか。

委員…「ひとりひとり」の表記が平成23年に文科省から出ている用字用語例では、漢字を続けた「一人一人」になっていますが、その後変更がありましたでしょうか。基本理念の中では漢字とひらがなで「一人ひとり」と表記されているので気になりました。

座長…「一人ひとり」について、どなたかご存じであればご教示いただけるとありがたいです。

委員…「一人一人」を漢字で書くことは常用漢字表の本文に従っているところではありますが、両方漢字で書いても、平仮名で「ひとりひとり」と書いても間違いではないです。

委員…漢字二つが基本にはなりますが、最近の傾向として、「子供」の「ども」が平仮名になっていたり、「人々」でも「人」が漢字で「びと」が平仮名になっていたりします。文部科学省もそのことについて、間違いではないとしているようです。今は過渡期であるため、文章によっては漢字で書いたりひらがなばかりで書いたりとなっているのが現状であると思います。

事務局…教育委員会でも一人ひとりの表現は議論されており、亀岡市第5次総合計画と表記を合わせるため、はじめは漢字、あとは平仮名とさせていただきました。

事務局…一点修正をさせていただきたいと思います。基本理念左側の中ほどで、「亀岡市の教育は、「ふるさと」「共感」「主体性」となっている段落の次の行にある、「謳う」の漢字ですが、以前にも他の漢字でご指摘をいただきましたが常用漢字ではないため、平仮名にしたいと思います。修正をよろしく願います。

座長…他にございませんでしょうか。

委員…資料1の説明の中で、右側の頁にある「ふるさとを愛し、持続可能な地域や社会を創る力」の創るという漢字を、造船の「造る」から創造の「創る」に訂正されましたが、訂正された「創る」という字には傷つくという意味があるため、元の「造る」の方がよかったと思います。

座 長…「ふるさとを愛し、持続可能な地域や社会を創る力」の「創る」の漢字は元の「造る」がよかったのではないかと意見が出ました。

委 員…「創る」という字を平仮名で書くのもいいと思います。

委 員…京都府教育委員会の「令和3年度学校教育の重点」の中では「つくる」は創造の創であることをもとに考えておられるのではないかと思います。

委 員…京都府の方では確かに創造の創を使っています。その中の意味には、新しいという意味と、作りだしていくというクリエイティブな意味が含まれているため、創造の創を使っているのではないかと思います。

委 員…第5次総合計画の中では創造の創の漢字が使われています。これに準じる方がいいのではないかと思います。

座 長…他に御意見はありますか。

(意見等なし)

座 長…議論はあるところですが、第5次総合計画と府教委の学校教育の重点にならって創造の創の漢字でいきたいと思います。

座 長…他にございませんでしょうか。

座 長…では、私の方からですが、概念図の平和・人権尊重の下に四角で囲ってある中で、「中央の円は」と書いてありますが、この概念図が立体的で三次元的なものであるとすれば、「中央の球（きゅう）は」の方がいいのではないかと思います。球の方が、たまが3つ同時に拮抗しながら上がっていくように感じます。

座 長…「中央の玉は」も考えましたが、少し重たいような、中々上がっていかないような気がしています。

座 長…「中央の球は」でよろしいでしょうか。

(意見等なし)

座 長…では、円を球と変更していただきたいと思います。他にはよろしかったでしょうか。

座 長…前回かなりの時間をかけて議論をいたしましたものを、教育委員会の方で5回も会議を開いていただき、落としどころになったかなと思っておりますが、皆様いかがでしょうか。

(意見等なし)

座 長…御意見ありませんので、検討会議としてこれを了承したいと思います。ありがとうございます。

5. 基本目標及び基本施策について

事務局…【資料2】をもとに説明

座 長…ただいま事務局から、基本目標及び基本施策について説明がありました。何か不明な点や質問はありますか。

委 員…これからの教育というのは、学校教育・社会教育・家庭教育というトータルの力を高めていくことが必要になっていくのではないかと思います。これがコミュニティスクールというものではないかと思いますが、今回出していただいている資料の中にはコミュニティスクールのことについて、具体的に書かれた部分が見つかりません。強いて言えば、社会に開かれた教育活動というところかなとは思いますが、府教委も文部科学省も推進しているところではありますので、もう少しコミュニティスクールというものについて、文言に入れた方がいいと思います。

座 長…コミュニティスクールについての言及があればという御意見ですが、何かございますか。

委 員…めざす人間像の中に、「みらいを共にきりひらく」という言葉がありますが、「共に」のところがすごく大事ななと思います。目標①から⑦を見させていただきましたが、幼稚園から中学校までの様々な繋がりや連携については明記されていますが、保護者の繋がりや、地域との連携といったところが言葉になっていないの

で、提起する部分としては弱いかなと思います。コミュニティスクールという部分はやはり掲げていった方がいいのではないかと思います。

座長…具体的な事例や、ビジョンをカッコ書きした方がイメージを掴みやすいと思います。例えば社会に開かれた教育活動の展開であれば教員の働き方改革と関連して、クラブ活動などを全面的ではなくとも社会教育の分野に任せてしまうなど、いろいろな議論をするべきだと思います。他にも学校施設のあり方についても、バリアフリーもそうですが、小中一貫教育のようなもっと制度とダイナミックに絡むようなことができるのではないかと個人的には思います。

委員…目標①の中の「さらなる献立の充実に向けた学校給食センター施設整備の推進」について、献立の充実と施設整備は別物ではないでしょうか。

委員…説明の時に新たな献立を充実させようとする、機器を更新していかないと実現できないと説明されていました。

委員…献立が充実することにより、子どもたちにとって給食が更に楽しみなものになると思いますので、施設整備の文言は予算も関係することだと思いますから、消さない方がいいと思います。

座長…市民力を支える図書館の充実について、ヨーロッパの図書館はすごく市民を支えています。カフェがありまして、そこで町の特産物を使った簡単な料理ができたり、手料理を持ち寄って読書会を行ったりしています。パリにあるシェークスピアアンドカンパニーという本屋は、そこを地盤にいろいろな市民が新しい活動を起こして、生活の中に根付いています。実際にパリに行かなくてもインターネットで調べることができますので、リサーチしていただきたいです。公教育だけではなく、民間の力も借りて、例えば亀岡の地元の食べ物などを育てている農家とタイアップして、図書館でどのような活動ができるのかなど、みらいをきりひらくということは、今までにないものをデザインする力のようなもので、このことを市民力というのだと思います。ぜひ新しい理念をデザインしていただければと思います。

委員…質問ですが、中央図書館以外の図書館は何カ所ありますか。

事務局…亀岡会館がありました前にある、中央館が一番大きな施設です。閲覧スペースが少ないですが、本の蔵書が全館の半数以上と一番多い図書館です。2番目に大きい図書館は、ガレリアかめおかに入ってすぐ右のところにありますガレリア分館で、児童コーナーと一般コーナーがあります。メディアス亀岡の中にある大井分館と、メディアス亀岡5番館のプラザの中にあります馬堀分館が同じぐらいの規模で、閲覧スペースなどは少なくなっておりますが、どちらも、他の図書館から本を取り寄せて貸し出しができる図書館となっています。また、本梅町公民館の中に西部分室が、亀岡川東学園の中に川東地域図書館が、水曜日と土曜日の午後に開館しています。こちらも他の市内図書館から取り寄せて借りることができる図書館となっています。

委員…五条通にある京都市立病院の1階に本屋がありまして、本を取ってきて読みながら待つということが出来ます。中央図書館本館でも、普段とは違った人が行くきっかけになるような目的をもって催しをすることが大切だと思います。

座長…ありがとうございます。イメージしていますのは朝日カルチャーセンターのような企業倫理です。例えば大昔の話ですと、社会教育では東京都中野区がすごく文化が高く、市民力が強いです。役所が上からイベントやセミナーを開催するのではなく、市民の方から自主的にイベントをつくっていくようなものが市民力ではないのかなと思います。

座長…話が少し大きくなりましたが、そういったデザインをしないと未来は見えてこないのではないかなと思います。

委員…座長の意見に賛成です。図書館という名前にこだわらないで、今座長がおっしゃったようなことを含めて、様々な立場の人が気軽に入って利用できるようにすること大切だと思います。

委員…いじめの問題について、「目標③自他を尊重し、共感できる心を育てる」の中に、生徒指導・教室相談活動の充実がありますが、この中に独立して、いじめの撲滅を入れていただきたいと思います。いじめが長引くことによって教育相談などが必要になるの

で、カウンセラーなど必要とは思いますが、SDGsでも言われているように、亀岡の中からいじめが0（ゼロ）だと言える目標を独立した形で掲げていただいて、是非一人も取り残さない、一人ひとりが幸せを感じるというようにしていただきたいです。

座長…ありがとうございます。目標として独立させるということでしょうか。

委員…はい。

座長…いじめ撲滅、いじめをなくす、いじめを0（ゼロ）にする。事務局の方で検討をしていただけますでしょうか。

委員…いじめの問題は決して学校教育だけにお願いすることではなく、家庭の支援や、地域の理解が当然必要なことでもあるため、いじめ0（ゼロ）というのは非常に大きな課題だと思いますが、入れ込むのであれば学校だけではなく、地域社会全体での取り組みというようなところで、表現を考えていただく必要があると思います。

座長…ありがとうございます。

委員…目標⑦の基本施策にある体験的活動の推進ですが、例えば農地を農業地とは考えずに、泥んこサッカーゲームみたいな農家が考案したゲームを行うなど、まずは体験して、若者に農地を理解していただくというのもひとつの方法だと思います。

委員…農地と関連しまして、資料館には市民から寄贈された、いろいろな昔の陶器がびっしりとあります。しかし、それを並べて言葉で説明しても、なかなか理解できないと思います。今言われたような、実際に使った体験学習を行っていきまると資料館の資料も役に立ちますし、子どもも大人も過去を振り返りながら身をもって、大切にしたいという心が育まれたりするのではないかと思います。

座長…ありがとうございます。少し時間が押してきましたので、今まで出てきたご意見を事務局の方で、まとめていただきますようお願い

いします。

6. 亀岡市教育振興基本計画～かめおか教育プラン～の評価について

事務局…【資料3】をもとに説明

座 長…ただいま事務局から、亀岡市教育振興基本計画～かめおか教育プラン～の評価について説明がありましたが、何か不明な点や質問はありますか。

座 長…緑と青の背景について、なにか意味があるのでしょうか。

事務局…現在の計画につきましては、平成25年度からスタートしております。その内、前期が平成25年から平成29年、後期が平成30年から今年度までという計画になっています。色がついているものについては、前期で一旦施策が終了し、後期で新たな施策を実施しているもので、前期後期で分けてはいますが、推進施策としては繋がっているという意味で色付けさせていただいております。

座 長…ありがとうございます。

座 長…特に事務局として注目しているような評価項目はございますか。皆さんで共有したいと思います。

事務局…現在の計画にかかるものについて、今後の方向性をお示しさせていただいていますが、「充実・強化」と評価しているものについては、次の第2次教育振興基本計画にも盛り込んでいきたいと考えています。

座 長…ありがとうございます。右端の今後の方向性のところで、「充実・強化」というところは今後も力を入れていきたいということをおっしゃっておられます。委員の皆様ご質問などございませんでしょうか。

委 員…少し戻りますが資料2の目標②の、①「学力の充実・向上」について、「学力の充実」という言い方はしないのではないかと思います。例えば「学びの充実」や「授業の充実」という言い方はし

ます。資料3の就学前教育推進事業のところに「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」ということが書いてありますが、幼児期だけではなく、小学校や中学校も繋げていき、10の姿を通して子どもを見ることが大事だと思います。そういう意味で言うと「学力」ひとつで括ってしまうより、「学びの」というような括りでもいいのではないかと思います。

座長…学力の充実ではなく学びの充実ですか。

委員…はい。例えば中ポツなどで括ってもいいですし、学びの充実という言葉と確かな学力の向上という言葉は分けて記載してもいいと思います。目標④に、⑪保育所等と小学校との連携強化、⑫小中一環教育・小中連携教育という言葉があるのですが、幼児教育から小学校教育への学びというものの自体が、充実して繋がっているという記載があった方がいいのかなと感じました。

座長…ありがとうございます。学びの充実という観点から、例えば幼小、小中とずっと続いていくということなので、文言について、学力の充実という表記は検討していただき、変えることができるところは学びの充実に変えていただきますでしょうか。

委員…学びを充実した結果、何を求めるのでしょうか。それは学力の向上ではありませんか。そういう捉え方でないと、なぜ学びを充実させるのか、充実させた結果、学力を向上させて社会生活に馴染む人材をつくるというのが基本ですから、私は両方を入れるべきだと思います。

委員…私も同じで、並列で入れたほうがいいと思います。

座長…就学前教育では学力という言葉はあまり使わないですね。

委員…就学前教育では学力という言い方はしていません。今、小中学校から高校までを見据えて、資質能力の3つの柱と言っていますが、小学校では知識・理論を学び、幼稚園、保育園では遊びの中で知識・理論の基礎を学びます。例えば、「あいうえお」を学ぶのではなくて、「あいうえお」を使いたくなるような体験をいっぱいしていくということです。資質能力は幼稚園から高校まで全部繋がっており、保育所に入ると0歳からずっと学びがあるとい

うこととなりますので、捉え方次第だと思います。

委員…小学校にはいられたときに、子どもたちにどのような目標をもっていただき、小学校とはどういうところなのかということは具体的に教育されておられるのでしょうか。

委員…今学びという言葉がありましたけども、学力というものは、学びに向かう力を学力という捉え方と、学んだ力という意味もあると思います。子どもたちに学びに向かう力を教えることにより、最終的に学力が身につくと思います。また、友達との関わりの中で身につく、非認知能力といわれている学力のような測る力ではない、協調性などの様々な力についても非常に大事にし、教育に取り組んでいるところです。

委員…私は孫などに、小学校というのはまず、よくきちんと勉強して、2番目に体を鍛えて、そして友達をたくさん作って、社会人として恥ずかしくないようになる場所だと言います。具体的なことを言わないとわからないと思います。特に小学校は特別で、幼稚園などとは意味が違うと思います。亀岡市では小学校の先生がどのようなことを具体的に仰っているのかと思った次第です。

座長…ありがとうございます。まとめますと、学びの充実と、学力の向上について並列でも構いませんので、事務局の方で精査していただければと思います。

座長…他ございませんでしょうか。

委員…学びの向かう方向ですけど、何を学ぶのかというよりも、どのように学ぶのかということが重要だと思います。どのようにというのは、自分でしっかり学びに向かって手を伸ばして学んでいく。それを目標としていくのが本当はいいのではないのかと思います。

座長…他よろしいでしょうか。

(意見等なし)

座長…御審議いただきありがとうございました。

7. その他

座 長…それでは、次第のその他に移りますが、事務局から今度の展開についてご説明をお願いします。

事務局…今後の会議の日程ですが、次回は8月ごろに第4回の検討会議を予定しております。そこで現在の基本目標・基本施策から更に具体的な施策をお示しさせていただきます。9月にはパブリックコメントを実施していきたいと思います。その後、パブリックコメントの結果をもとに第5回検討会議を10月ごろに予定しています。11月には最終の計画としてまとめていきたいというスケジュールになりますのでよろしくをお願いします。

座 長…ありがとうございます。皆様方には議事進行に御協力賜り、感謝申し上げます。これにて第3回検討会議を閉じさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

事務局…ありがとうございました。限られた時間の中でご協議をいただきまして、また、たいへん貴重なご意見をたくさんいただきましてありがとうございました。いただいたご意見につきましては事務局で整理いたしまして教育委員会に諮っていきたいと思っております。本日は緊急事態宣言下の中ではありましたがご出席賜りましてありがとうございます。これにて終了させていただきます。